

第 8 次鳥取市総合計画「実施計画」

事業名	弥生にぎわい拠点支援事業
-----	--------------

会計区分	一般会計	実施主体	市
根拠法令等	中心市街地活性化基本計画		
ソフト・ハードの区分	ハード	ソフト	実施(補助)期間 自 H16 ~ 至 継続

担当部	都市整備部	担当課	都市計画課
担当係	市街地整備室	内線	2741 課 20040
関係課			

総合計画				基本計画の政策目標 (平成16年度 22年度)	
基本計画	章	名 第3章 交流と文化によるまちのにぎわいづくりと地域を支えるものづくり			中心市街地 休日1日当たり通行量 1,622人 1,800人
	節	名 第1節 交流と文化によるまちのにぎわいづくり			
	細節	名 第6 交流による「まち」と「むら」の振興			
	施策	名 中心市街地活性化の推進	該当ページ	135ページ	
夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン		4	人材誘致・定住対策の促進		
事業区分	新規	継続	施策	31-06-01	

【事務事業・第8次総合計画進捗管理】

事業の目的	平成19年度 事業内容	平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	備考	注意事項
中心市街地のにぎわい創出のため、空き地となった旧鳥取銀行本店跡地を活用し、パレットと通りの整備を行った。パレットと通り及び市民交流ホール運営のため支援を行う。	・弥生にぎわい拠点整備事業用地取得代金の支払い ・パレットと通り整備事業に伴い、事業主体の鳥取本通商店街振興組合が借り入れた資金の利息を助成 ・市民交流ホールの運営経費助成 ・市民交流ホール利用促進助成	・弥生にぎわい拠点整備事業用地取得代金の支払い ・パレットと通り整備事業に伴い、事業主体の鳥取本通商店街振興組合が借り入れた資金の利息を助成 ・市民交流ホールの運営経費助成 ・市民交流ホール利用促進助成	・弥生にぎわい拠点整備事業用地取得代金の支払い ・パレットと通り整備事業に伴い、事業主体の鳥取本通商店街振興組合が借り入れた資金の利息を助成 ・市民交流ホールの運営経費助成 ・市民交流ホール利用促進助成	・弥生にぎわい拠点整備事業用地取得代金の支払い ・パレットと通り整備事業に伴い、事業主体の鳥取本通商店街振興組合が借り入れた資金の利息を助成 ・市民交流ホールの運営経費助成 ・市民交流ホール利用促進助成		(注1) 事業内容は、緊急性、地域の実情、効果、熟度、有利財源の確保の観点により、毎年ローリング(見直し)する中で変更していくことがあります。 (注2) 事業費(財源内訳)は、社会経済情勢の推移や行財政改革の推進、中長期的な財政事情などにより、毎年ローリングする中で見直しを行い、当該年度の予算編成で精査することとなります。
事業の概要	弥生にぎわい拠点整備事業用地の取得費の支払い及び弥生にぎわい拠点施設(パレットと通り)整備に伴い、事業主体の鳥取本通商店街振興組合が借り入れた資金に対する利息を助成する。また、市民交流ホール運営のため、運営補助を実施する。					
事業の対象者(交付先)	鳥取本通り商店街振興組合(利子補助) 商工会議所(市民交流ホール運営補助)					
事業費(百万円)	H19決算額	H20予算額	H21予算要求 予定額	H22予算要求 予定額	H20~H22合計	
百万円未満の事業費は、百万円に切り上げています。	13	13	84	80	177	
財源内訳(アット)	一般財源 12	一般財源 12	83	79	174	
国庫支出金						
県支出金						
起債()						
その他(基金)	1	1	1	1	3	
目標値	活動の指標(アウトプット)	市民交流ホール延べ利用団体数 540団体	市民交流ホール延べ利用団体数 510団体	市民交流ホール延べ利用団体数 520団体	市民交流ホール延べ利用団体数 540団体	#REF!
	効果(アウトカム)	市民交流ホール利用者数 220百人	市民交流ホール利用者数 215百人	市民交流ホール利用者数 218百人	市民交流ホール利用者数 220百人	#REF!
特記事項	[事業区分欄] 1: 終了事業 2: 継続事業 3: 見直し事業				#REF!	